

滋賀県知事の三日月大造です。

この文章に目を通してくださり、ありがとうございます。きっと、ご興味があつてのことと思います。

さっそく本県の森林・林業のことですが、本県の森林は、資源がどんどん充実しており、伐採適期を迎える森林が増えてきています。このため、今後は木材生産量もさらなる増加が見込まれます。

また、近年の台風などの自然災害では、強風によって発生する風倒木処理の対応が求められるとともに、放置された森林の対策や県産材の利用などを進めていく必要があります。

これらのことから、本県の森林・林業における事業量はより一層増加していく見込みです。

その一方で、これらの業務に対応する林業従事者の方々は、年々減少と高齢化が進み、ひとりが1日に行う業務量である労働生産性は、低い状態にあります。

これらの課題を解決するために、令和元年6月に「既就業者」、「新規就業者」、「市町職員」を対象とした新たな森林・林業人材育成機関として、『滋賀もりづくりアカデミー』を開講しました。

このアカデミーにかける私の思いとして、3つのことを紹介します。

1つめは、滋賀ならではのことをやっていきたい。

真ん中に琵琶湖のある本県は、周囲を山々に囲まれています。山と湖とは離れていますが、川や里とのつながりを通じて結びつきは比較的近いと感じられることから、「森～川～里～湖」を意識した森づくりをやっていきたいのです。

2つめは、『やまのこ』からの継続性・連続性を大事にしていきたい。

『やまのこ』は、本県独自の取組で、県内全ての小学4年生を対象としており、「やまのこ」、そして小学5年生で「うみのこ」とそれぞれの学習を行っています。この『やまのこ』で学んでもらったことが将来に繋がって欲しいと思っています。

3つめは、山村で暮らす生業づくりにチャレンジしていきたい。

アカデミーでは、林業技術を身につけるだけでなく、山村での暮らしを通しての生活の知恵や技術をどんどん身につけていただき、生業づくりにチャレンジしていただきたいと思っています。

本県の森林・林業、山村地域には課題があります。ただ同時に課題は可能性です。課題を問題だと捉えて尻込みをしてしまうのか、可能性だと捉えて一歩前に出るのか？

私たちは、みんなで力を合わせて一歩前に出て、よりよい山にして次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

ぜひ、一緒にやりましょう！

滋賀県知事

三日月大造



#### 【アクセス】

##### 《公共交通機関》

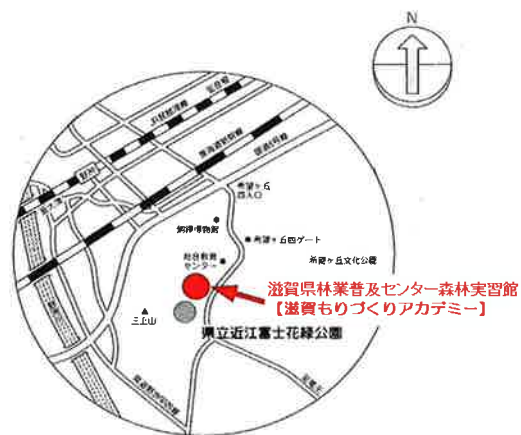
JR琵琶湖線・野洲駅から近江鉄道バス  
「近江富士花緑公園」行き「林業普及センター」下車徒歩3分。

##### 《自動車》

名神高速道路栗東ICより約7km。

国道8号線を近江八幡方面へ。

「三上神社前」交差点を右折、2つめの信号を左折、約2.2km。（駐車場無料）



### 滋賀もりづくりアカデミー事務局（滋賀県林業普及センター内）

◆〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978-95

◆TEL:077-584-4711 / FAX:077-584-4755

◆E-mail:kenshu@shigamori.or.jp